

小学校 5年

沖縄県を紹介するパンフレットを作ろう！

河内長野市立川上小学校

教科

社会

単元名

あたたかい土地の暮らし 沖縄県

本時のねらい

沖縄県の文化について調べる活動を通して、独自の文化への理解を深める。

本時における 1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・児童一人ひとりがインターネット検索を活用して必要な情報を取捨選択し、それを引用する活動を通して情報リテラシー能力の向上をねらった。
- ・文書作成ソフトを活用することで、文章だけでなく写真やグラフを簡単に挿入できることから、学習者用端末を活用し、受け手にとってより伝わりやすいパンフレットを作成することをねらいとした。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・学習者用端末（Chromebook）
- ・文書作成ソフト（Google ドキュメント）
- ・ポータルサイト（yahoo キッズ）
- ・プロジェクター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題をつかむ。 「沖縄県の文化について調べ、パンフレットをつくらう」 ○どのようにすれば、相手に伝わりやすいパンフレットになるのか、前時までに学習したことを確認する。 ・集めた情報を取捨選択する。 ・読み手に興味を持たせる表現や語句を工夫する。 ・説明が分かりやすくなるような写真や図を必ず入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターを使い、教員用端末の画面をスクリーンに投影し、前時までの学習を振り返る。 ・プロジェクターを使い、教員用端末の画面をスクリーンに投影し、「エイサー」「首里城」などといった沖縄の文化に関する写真を例示し、本時の学習課題をつかむ。 ・教員が文書作成ソフトで作成したワークシートを、Classroom を通じて、データ配付し、見直しをもつ。
展開 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ポータルサイト(yahoo キッズ)を活用して、沖縄の文化について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検索で出てきた結果をすぐに活用するのではなく、複数のサイトの情報等と照らし合わせながら、信用できる情報が吟味するよう伝える。 ・文書作成のときに引用文献としてパンフレットに記載できるように参考にしたサイトの URL をコピーしておく。
まとめ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○文書作成ソフトで調べた内容をまとめた文書を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べた情報をもとに文章を作成したり、写真を貼り付けたりしながら、伝わりやすいパンフレットになるようにまとめる。

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1 ポータルサイトから沖縄県の文化について検索している場面



写真2 文書作成ソフトを活用して、調べた内容をまとめている場面



首里城

琉球王国は、1429年から1879年までの450年間にわたり存在した王制の国。中国や日本、東南アジアとの盛んな交易により、琉球独自の文化が育まれた。その王国の

写真3 児童の作品例

児童生徒の反応や姿容

- ・インターネット検索を通して、これまでよりも詳細な情報を児童自身が見つけることができ、主体的に沖縄県の文化について学ぼうとしている姿が見られた。
- ・文書を作成する際には、どうすれば受け手に沖縄県の良さを伝えることができるかを考えながら積極的に作業に取り組んでいる様子が見られた。その結果、学級の児童全員が、サイトから引用した写真や図を活用したパンフレットを作成することができた。（著作権等についての指導も行ったうえで、引用文献等も明記させた）

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・このような活動を普段から行うことも、インターネットで収集した情報が正しい情報なのかを見極める力の育成につながると考えている。また、引用文献を明示させることは、国語科の学習内容でもあり、教科横断的に「情報を正しく取り扱うこと」を意識させることができた。
- ・文書作成ソフトを活用することで、紙媒体では難しい写真や図の挿入を児童らが容易に行うことができた。
- ・どの児童も「図や写真をどのように配置すれば、よりわかりやすいのか」といったことを考えながら作成しており、それを実現させるための操作方法を主体的に学ぼうとする姿が見られた。